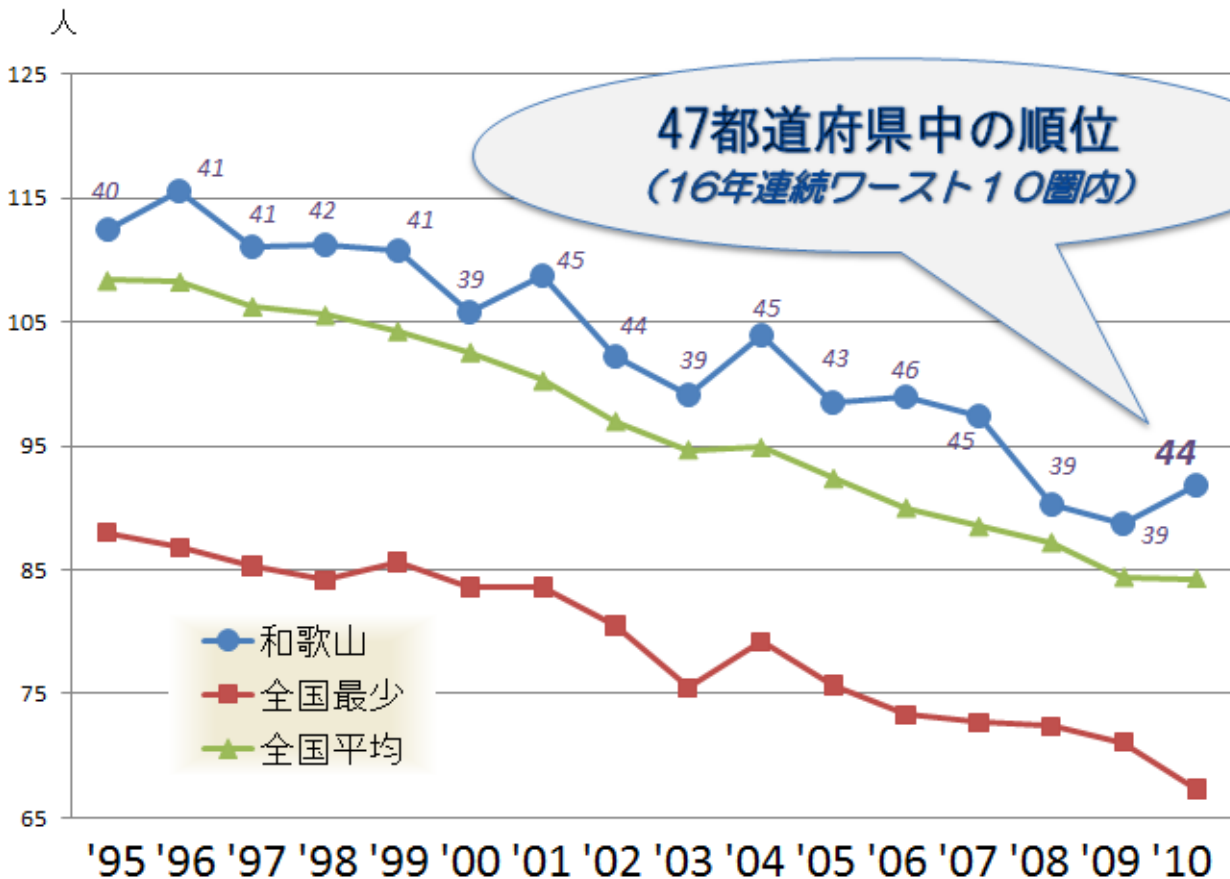


週刊 **タバコの正体**

新年、明けましておめでとうございます。2週間ほどの短い冬休みでしたが、大晦日やお正月を挟んだので一年を振り返り、歳月の積み重ねを感じた人もいたでしょう。そう思うと、こうして新しい年を迎えられた事に改めて感謝し、昨年の災害を乗り越え、みんなで頑張る活気ある明るい一年にしたいものです。

さて、下の図は、国立がん研究センターが毎年発表している「がん統計都道府県比較 75歳未満年齢調整死亡率」のグラフです。16年前(1995年)から確実に死亡率は減ってきていますが、和歌山県の死亡率は、一番少ない県より10万人あたり30人も多く、常に全国ワースト10に入っています。人口100万人あたりにすると300人もがんで亡くなる人が多いという事です。

10万人あたりの **がん死亡者数**



なぜ多いのか、原因は特定できないと思いますが、いつまでもこんな不名誉な状態では、やっぱり元気が出ません。せめて、がんの発症に大いに関係があるタバコはやめるべきだと思いませんか。

～紀伊半島大水害～

**まけるな!!和歌山**

大水害からの復興に向け、全県で『まけるな!!和歌山』を合言葉に頑張らなければならない今年こそ、タバコなんか吸ってる場合ではありません。